

三次市訓令第2号

三次市週休2日適用工事等実施要領を次のように定める。

令和8年3月6日

三次市長 福岡 誠志

三次市週休2日適用工事等実施要領

三次市週休2日制工事实施要領（令和6年三次市訓令第2号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この訓令は、市が発注する建設工事において、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この訓令において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 週休2日適用工事

ア 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態（週単位）をいう。ただし、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、土日に代わる現場閉所日を同一の週で指定し、1週間に2日間以上の現場閉所を行うものとする。

イ 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月単位で4週8休（現場閉所日数の割合が28日分の8日の状態をいう。）以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

ウ 通期の週休2日とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

エ 月単位とは、工事着手日から起算して4週間（28日間）ごとに分けた期間をいう。なお、4週間に満たない期間（工事完了日の関係で28日確保できない等）は、通期で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる場合に、月単位の週休2日を達成しているものとみなす。

オ 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含め、1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

カ 対象期間は、工事着手日から工事完了日までとする。なお、工事着手日とは、工事開始日以降の実際の工事のための準備工事（現場事務所等の設置又は測量をいう。）に着手した日を、工事完了日とは、工事完成通知書の提出見込日から後片付け期間を除いた日をいう。また、次の期間は対象期間から除く。

(ア) 年末年始6日間及び夏季休暇3日間

(イ) 工場製作のみが行われている期間

(ウ) 工事全体を一時中止している期間、災害時の緊急対応等、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間

(2) 週休2日交替制適用工事

ア 完全週休2日交替制とは、対象期間の全ての週において、現場に従事した技術者及び技能労働者が交替しながら1週間に2日間（平均休日日数の割合が7日分の2日）以上の休日確保したと認められる状態（週単位）をいう。

イ 月単位の週休2日交替制とは、対象期間において、全ての月単位で技術者及び技能労働者が交替しながら4週8休（現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日日数の割合が28日分の8日の状態をいう。）以上の休日確保したと認められる状態をいう。

ウ 通期の週休2日交替制とは、対象期間において、技術者及び技能労働者が交替しながら4週8休以上の休日を確保したと認められる状態をいう。

エ 月単位とは、工事着手日から起算して4週間（28日）ごとに分けた期間をいう。なお、4週間に満たない期間（工事完了日の関係で28日確保できない等）は、通期で4週8休以上の休日確保を行ったと認められる場合に月単位の週休2日交替制を達成しているものとみなす。

オ 交替制による休日確保は、施工体制台帳上の元請業者及び下請業者の技術者・技能労働者を対象とする。ただし、一時的（2週間未満）に従事した技術者及び技能労働者は対象外とする。

カ 平均休日数の割合とは、対象となる技術者・技能労働者ごとの休日日数の割合を平均した値をいう。

キ 対象期間は、工事着手日から工事完了日までとする。なお、工事着手日とは、工事開始日以降の実際の工事のための準備工事（現場事務所等の設置又は測量をいう。）に着手した日を、工事完了日とは、工事完成通知書の提出見込日から後片付け期間を除いた日をいう。また、次の期間は対象期間から除く。

（ア）工場製作のみが行われている期間

（イ）工事全体を一時中止している期間、災害時の緊急対応等、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間

ク 実際の作業がなくても、現場へ出る体制を確保している日（待機日）は、休日としない。ただし、自宅待機は休日とする。

（対象工事）

第3条 建設工事は、次に該当する工事を対象とする。ただし、災害時等の緊急対応工事、対象期間が著しく短い建設工事等は、対象外とすることができる。

(1) 週休2日適用工事 原則、現場閉所が可能な全ての建設工事を対象とする。

(2) 週休2日交替制適用工事 現場閉所が困難な全ての建設工事を対象とする。

なお、現場閉所が困難な工事は、次に掲げるとおりとする。

ア 緊急性が高い工事、休日（土日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇）に作業が必要な建設工事等

イ 社会的要請、現場条件の制約等により、現場閉所を行うことが困難な建

設工事

(発注方式)

第4条 請負対象設計金額が3億円以上の建設工事（以下「完全週休2日対象の建設工事」という。）は、完全週休2日（土日）又は完全週休2日交替制の受注者希望型で実施するものとする。

2 前項以外の建設工事等については、原則、月単位の週休2日又は月単位の週休2日交替制の発注者指定型で実施するものとする。

3 完全週休2日（土日）の取組を達成できなかった場合は、月単位の取組を実施し、月単位の取組を達成できなかった場合は、原則、通期の取組を実施する。

(実施方法)

第5条 週休2日適用工事及び週休2日交替制適用工事の実施方法は、次に掲げるとおりとする。

(1) 週休2日適用工事

ア 完全週休2日対象の建設工事において、受注者が完全週休2日（土日）の実施を希望する場合は、受注者は工事着手までに完全週休2日（土日）の実施について工事打合せ簿により発注者へ申し出るものとする。ただし、希望がない場合は、月単位の週休2日を実施するものとする。

イ 受注者は、工事着手までに週休2日取得が確認できる「休日取得計画表（以下「計画表」という。）」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手日と工事完了日を計画表に明記するものとする。なお、品質管理・安全管理等のために継続して行わなければならない作業、工程上の都合等やむを得ない場合は、工事着手後であっても週休日を変更することができるものとし、降雨、降雪等で現場閉所する場合においても、週休日とすることができる。

ウ 受注者は、休日の取得状況を記入した計画表及び休日の取得状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等）を、毎月7日までに監督職員に提出するものとする。

エ 週休2日を理由とする工期延長については認めないものとする。

オ 受注者は、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成できなくなった場合は、速やかにその理由を打合せ簿等で監督職員に提出するもの

とする。

カ 受注者は、工事着手までに監督職員と協議した上で、週休2日交替制を行った場合、設計変更することができる。

(2) 週休2日交替制適用工事

ア 完全週休2日対象の建設工事において、受注者が完全週休2日交替制の実施を希望する場合は、受注者は工事着手までに完全週休2日交替制の実施について工事打合せ簿により発注者へ申し出るものとする。ただし、希望がない場合は、月単位の週休2日交替制を実施するものとする。

イ 受注者は、工事着手までに施工体制の内容や休日確保状況を証明する方法を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとする。なお、品質管理・安全管理等のために継続して行わなければならない作業、工程上の都合等やむを得ない場合は、工事着手後であっても週休日を変更することができるものとし、降雨、降雪等で休日確保する場合においても、週休日とすることができる。

ウ 受注者は、休日の取得状況を記入した計画表と、休日の取得状況が確認できる書類を、毎月7日までに監督職員に提出するものとする。

エ 週休2日交替制を理由とする工期延長については認めないものとする。

オ 受注者は、完全週休2日交替制又は月単位の週休2日交替制を達成できなくなった場合は、速やかにその理由を打合せ簿等で監督職員に提出するものとする。

(経費等の補正)

第6条 週休2日適用工事及び週休2日交替制適用工事の経費等の補正は、次に掲げるとおりとする。

(1) 週休2日適用工事

ア 別表第1表1に示す各経費の補正係数を乗じるものとする。

イ 市場単価における補正係数については、別表第1表2及び表3によるものとし、土木工事標準単価における補正係数については、別表第1表4によるものとする。

ウ 発注の際、完全週休2日対象の建設工事については、完全週休2日（土日）の補正係数を乗じたもので発注する。それ以外の建設工事等について

は、月単位の週休 2 日の補正係数を乗じたもので発注する。

エ 完全週休 2 日対象の建設工事のうち、完全週休 2 日（土日）の取組を希望しない工事については、直近の変更契約の際に、月単位の週休 2 日の補正係数に変更する。また、完全週休 2 日（土日）が未達成の場合は、月単位の週休 2 日の補正係数により設計変更を行い、月単位の 4 週 8 休が未達成の場合は、補正係数を除いて設計変更を行うものとする。

オ 「土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）」を適用する工事は別表第 2，「治山林道必携」を適用する工事は別表第 3 により、経費等の補正を行う。

(2) 週休 2 日交替制適用工事

ア 別表第 1 表 1 に示す各経費の補正係数を乗じるものとする。

イ 市場単価における補正係数については、別表第 1 表 2 及び表 3 によるものとし、土木工事標準単価における補正係数については、別表第 1 表 4 によるものとする。

ウ 発注の際は、完全週休 2 日対象の建設工事について、完全週休 2 日交替制の補正係数を乗じたもので発注する。それ以外の建設工事等については、月単位の週休 2 日交替制の補正係数を乗じたもので発注する。

エ 完全週休 2 日対象の建設工事のうち、完全週休 2 日交替制の取組を希望しない工事については、直近の変更契約の際に、月単位の週休 2 日交替制の補正係数に変更する。また、完全週休 2 日交替制が未達成の場合は、月単位の週休 2 日交替制の補正係数により設計変更し、月単位の 4 週 8 休が未達成の場合は、補正係数を除いて設計変更を行うものとする。

オ 「土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）」を適用する工事は別表第 2，「治山林道必携」を適用する工事は別表第 3 により、経費等の補正を行う。

（その他）

第 7 条 この訓令に定めのない事項については、必要に応じ、受発注者で協議して定めるものとする。

附 則

（施行期日）

- 1 この訓令は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
(三次市週休 2 日制工事実施要領の廃止)
- 2 三次市週休 2 日制工事実施要領（令和 6 年三次市訓令第 2 号）は、
廃止する。

別表第1（第6条関係）

表1 土木工事積算基準適用工事※の場合の各経費の補正係数

週休2日	労務費	機械経費(賃料)	共通仮設費	現場管理費
<u>完全週休2日(土日)</u> (週単位) 現場閉所率28.5% (2日/7日)以上	1.02	-	1.02	1.03
<u>月単位(4週8休以上)</u> 現場閉所率28.5% (8日/28日)以上	1.02	-	1.01	1.02
<u>通期(4週8休以上)</u> 現場閉所率28.5% (8日/28日)以上	-	-	-	-
週休2日交替制	労務費	機械経費(賃料)	共通仮設費	現場管理費
<u>完全週休2日</u> (週単位) 休日率28.5% (2日/7日)以上	1.02	-	-	1.03
<u>月単位(4週8休以上)</u> 休日率28.5% (8日/28日)以上	1.02	-	-	1.02
<u>通期(4週8休以上)</u> 休日率28.5% (8日/28日)以上	-	-	-	-

※諸経費体系が「公共(一般)」の工事

備考 労務費の補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員及び機械設備据付工とする。

表2 市場単価の補正係数（土木工事）

名称	区分	補正係数			
		週休2日		週休2日交替制	
		月単位	完全 週休2日 (土日) (週単位)	月単位	完全 週休2日 (週単位)
鉄筋工		1.02	1.02	1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01	1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工 (ガードレール)	設置	1.00	1.00	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工 (ガードパイプ)	設置	1.00	1.00	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工 (横断・転落防止柵)	設置	1.02	1.02	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
防護柵設置工 (落石防護柵)		1.01	1.01	1.01	1.01
防護柵設置工 (落石防止網)		1.01	1.01	1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00	1.00	1.00
	撤去・ 移設	1.01	1.01	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01	1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01	1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01	1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02	1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02	1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02	1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01	1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00	1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01	1.01	1.01
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01	1.01	1.01	1.01

表3 市場単価の補正係数（下水道工事）

名称	規格・仕様	補正係数			
		週休2日		週休2日交替制	
		月単位	完全 週休2日 (土日) (週単位)	月単位	完全 週休2日 (週単位)
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02	1.02	1.02
砕石基礎工	人力施工	1.02	1.02	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00	1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00	1.00	1.00
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01	1.01	1.01

表4 土木工事標準単価の補正係数（土木工事）

名称	区分	補正係数			
		週休2日		週休2日交替制	
		月単位	完全 週休2日 (土日) (週単位)	月単位	完全 週休2日 (週単位)
区画線工		1.02	1.02	1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02	1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01	1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02	1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02	1.02	1.02

別表第 2（第 6 条関係）

「土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）」を適用する工事に
 係る経費等の補正

表 1 各経費の補正係数（土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工
 事）

週休 2 日	労務費	共通仮設費率	現場管理費率
週単位 現場閉所率 28.5% （2 日 / 7 日）以上	1.02	1.05	1.06
月単位（4 週 8 休以上） 現場閉所率 28.5% （8 日 / 28 日）以上	1.02	1.04	1.05
週休 2 日交替制	労務費	共通仮設費率	現場管理費率
週単位 休日率 28.5% （2 日 / 7 日）以上	1.02	—	1.03
月単位（4 週 8 休以上） 現場閉所率 28.5% （8 日 / 28 日）以上	1.02	—	1.02

備考 労務費の補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術
 員及び機械設備据付工とする。

表2 市場単価の補正係数（土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事）

名称	区分	補正係数	
		週単位	月単位
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02	1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.01	1.01
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01

表3 土木工事標準単価の補正係数（土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事）

名称	区分	補正係数	
		週単位	月単位
区画線工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
構造物取りこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
鋼橋塗装工		1.01	1.01

別表第3（第6条関係）

「治山林道必携」を適用する工事に係る経費等の補正

表1 各経費の補正係数（治山林道必携適用工事）

週休2日	労務費	機械経費 (賃料)	共通仮設費率	現場管理費率
月単位（4週8休以上） 現場閉所率28.5% （8日/28日）以上	1.04	1.02	1.03	1.05
通期（4週8休以上） 現場閉所率28.5% （8日/28日）以上	1.02	1.02	1.02	1.03
週休2日交替制	労務費	機械経費 (賃料)	共通仮設費率	現場管理費率
月単位（4週8休以上） 現場閉所率28.5% （8日/28日）以上	1.04	—	—	1.03
通期（4週8休以上） 現場閉所率28.5% （8日/28日）以上	1.02	—	—	1.01

※労務単価、機械経費（賃料）が明らかとなっていない見積は補正の対象としない。

表2 市場単価の補正係数（治山林道必携適用工事）

名称	区分	補正係数	
		月単位	通期
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.04	1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.03	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01	1.00
	撤去	1.04	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04	1.02
	撤去	1.04	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.02	1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01	1.00
	撤去	1.04	1.02
道路標識設置工	設置	1.01	1.00
	撤去・移設	1.03	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.04	1.02
法面工		1.02	1.01
吹付砕工		1.03	1.01
軟弱地盤処理工		1.02	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.02	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.04	1.02

表3 土木工事標準単価の補正係数（治山林道必携適用工事）

名称	区分	補正係数	
		月単位	通期
区画線工		1.04	1.02
排水構造物工		1.04	1.02
コンクリートブロック積工		1.04	1.02
構造物取りこわし工	機械	1.03	1.02
	人力	1.04	1.02
橋梁塗装工		1.03	1.01
塗膜除去工		1.04	1.02
道路反射鏡設置工	設置	1.01	1.00
	撤去	1.04	1.02
浸食防止用植生マット工（養生マット工）		1.04	1.02